



理念

私たちは、自然のうるおいの中で、人それぞれの希望に満ちたくらしを支え、地域医療を推進します。

2011
11月号

冬の感染症対策

ゆきぐに大和病院 感染対策委員会委員長
和漢診療科医師 小林 豊

感染対策の基本

感染対策の基本は「手洗い」です。消毒薬や抗菌作用のある薬物で菌やウイルスを除菌するというよりも、物理的に洗い流すことが重要ですので、肌荒れしにくい液体石鹸を用いて流水で手洗いすることを勧めます。手始めに、帰宅したらまず「手洗い・うがい」をセットにして洗面台の前に立つことを習慣付けてみたらどうでしょう。そして、帰宅した後やトイレの後という「後」ばかりでなく、調理の前や食事の前といった「前」にも手洗いをする習慣に結びつけて欲しいと思います。

次に、咳エチケットについて。咳などの症状がある人はウイルスや細菌を含む飛沫を周囲にばらまかないようマスクを着用してください。周囲の人に広めない



努力を皆がすることで自分自身が守られるのです。

人間の防衛力・抵抗力が低下している状態だと、ウイルスや細菌による感染症にかかりやすくなります。日ごろから過労や睡眠不足を避けバランスの良い食事を心掛けることも感染症対策の一つと言えます。

インフルエンザウイルス

基本はやはり「手洗い」と「咳エチケット」。そして、インフルエンザに対してはワクチンという有効な手段がありません。小児や高齢者など、ワクチンの対象となる方は流行期の前にワクチン接種を済ませておいてください。高齢者の場合、肺炎球菌ワクチンと併用すると効果が上がるということが知られています。ただし混乱を避けるため、インフルエンザワクチンと接種の時期をずらした方が良いでしょう。

現在では、タミフルやリレンザなど優れた抗インフルエンザ薬があります。しかし、これらは感染初期でないと効きません。インフルエンザの流行期に悪寒・高熱・筋肉痛などが突然出現したら、早めに医療機関に相談してください。病院を受診される場合は咳エチケットをお忘れなく。また、抗インフルエンザ薬によ

ノロウイルス

冬に多発する感染性胃腸炎の原因となるウイルスの一つとして重要なのがノロウイルスです。また、ノロウイルスは主に力キなど二枚貝による食中毒の原因ウイルスにもなります。お子さんやお年寄りにいる家庭では力キなどは中心まで十分に加熱調理するようにしましょう。

ノロウイルスなどによる感染性胃腸炎の主な症状は、下痢・嘔吐・吐き気・腹痛や軽い発熱などです。普通は軽く済む場合が多いのですが、小児や高齢者では重症化することもあります。

感染している人の吐物や糞便の中には多数のノロウイルスが含まれています。それが手を介して感染するので、吐物や糞便の処置は素手で行わず使い捨ての手袋を使います。ここでも手洗いが重要。吐物が乾燥すると空气中にウイルスが漂って、これが口に入って感染することがあるので、乾かないうちに処置してください。



診療日のご案内

説明	診療科に対する曜日欄の記載は = 診療日、 = 休診となります。
	と(休診有)の記載がある場合は、当月に臨時休診があります。備考欄で、休診日をご確認ください。また、曜日欄に「日にち」の記載がある場合は、毎週ではなく診療日限定となります。

整形外科	月	火	水	木	金	土	受付	診療	備考・休診日
一般外来							8:00~11:00	9:00~ (10:20~の場合あり)	
新患							8:00~10:00		
再診							8:00~10:00		
予約(再診)							予約方法は、P.3上「予約または予約変更について」をご参照ください。		
脊椎		1日・15日					8:00~11:00	10:20~	
上肢							予約制		
足					11日・25日		8:00~11:00	9:00~	
リウマチ						5日・19日			

形成外科	月	火	水	木	金	土	受付	診療	備考・休診日
					(休診有)		13:00~14:30	13:30~	休診=25日(金)

子どもの予防接種日程

予防接種	接種日	受付時間	接種時間
三種混合	11月4日(金)	13:20~ 14:00	13:30~
麻しん・風しん混合 1期/2期/3期/4期	11月11日(金)		
日本脳炎	11月18日(金)		
B C G	11月25日(金)		

予約が必要です。予約・お問い合わせは、医事課まで。

病院休診日のお知らせ

3日(木) 祝日・文化の日
21日(月) 第3月曜日
23日(水) 祝日・勤労感謝の日
12月1日(木) 創立記念日

各診療科の休診日は、「診療科・診療日の案内」の最右「備考・休診日」欄でご確認ください。

12月1日(木)は創立記念日のため、全科休診させていただきます。

全科休診のお知らせ

インフルエンザ予防接種のお知らせ

今年もインフルエンザ予防接種を始めました。接種には予約が必要ですので、医事課窓口、または電話にてお問い合わせください。

なお、接種日と時間を指定させていただいております。また、1日の人数に限りがありますので、ご希望に沿えないことがあります。ご了承ください。

高校生以上・一般の方

12月27日までの間で、日にちを指定させていただきます(週2・3回)

受付 = 午後1時30分 ~ 2時

接種 = 午後2時 ~ 3時

中学生以下の方

1月27日までの毎週金曜日

受付 = 午後3時 ~ 3時30分

接種 = 午後3時 ~ 4時

予約は、月~金曜日(第3月曜日、祝日を除く)の午前8時30分~午後5時15分(土曜日は午後0時30分まで)にお受けしています。



平成 23 年 11 月

診療科

予約または予約変更について

受付日時：予約または予約変更をしたい診療科が診療している日の、
月～金曜日の午後2時～4時（歯科は歯科の受付欄参照）
方 法：電話にて受け付けます。

ゆきぐに大和病院 代表

TEL 025-777-2111
FAX 025-777-3853

内 科	月	火	水	木	金	土	受 付	診 療	備考・休診日
一般外来							8: 00~ 11: 00	9: 00~	休診=11日(金) 火曜日=予約制
内分泌糖尿病					(休診有)	5日・19日 11日・25日 12日・19日・ 26日			
循環器科		備考参照						10: 15~	
腎臓科									9: 00~
呼吸器科								13: 30~	
神経内科						予約制 (3ページ上の記事参照)			初診は予約が必要
睡眠時無呼吸									

和漢診療科	月	火	水	木	金	土	受 付	診 療	備考・休診日
午 前							8: 00~ 11: 00	9: 00~	
午 後				(休診有)			13: 00~ 14: 30	13: 30~	休診=10日(木)、17日(木)

精神科	月	火	水	木	金	土	受 付	診 療	備考・休診日
一般外来			2日				予約制 (3ページ上の記事参照)	9: 00~	
メモリークリニック		15日						13: 30~	
脳ドック科	14日・28日							10: 00~	
高次脳機能障害科	14日・28日							13: 30~	

外 科 胃腸科 肛門科	月	火	水	木	金	土	受 付	診 療	備考・休診日
							8: 00~ 11: 00	9: 00~	

小児科	月	火	水	木	金	土	受 付	診 療	備考・休診日
一般外来	午 前	14日・28日					8: 00~ 11: 00	9: 00~	
	午 後						14: 00~ 16: 00	14: 00~	
内分泌糖尿病				24日			14: 00~ 16: 30		

婦人科	月	火	水	木	金	土	受 付	診 療	備考・休診日
午 前							8: 00~ 11: 00	9: 15~ ③④ 10: 30~	
午 後							12: 00~ 14: 00	13: 00~	

眼 科	月	火	水	木	金	土	受 付	診 療	備考・休診日
一般受付							8: 00~ 11: 00	9: 00~	予約優先
予約制							予約制 (3ページ上の記事参照)	10: 15~	

耳鼻咽喉科	月	火	水	木	金	土	受 付	診 療	備考・休診日
午 前							8: 00~ 11: 00	9: 00~	
午 後							13: 00~ 15: 00	14: 00~	
皮膚科					(休診有)		8: 00~ 11: 00	9: 00~	休診=25日(金)
泌尿器科									

歯科・小児歯科	月	火	水	木	金	土	受 付	診 療	備考・休診日
一般外来							予約制 電話予約可 8: 30~ 12: 30 13: 30~ 17: 15	9: 00~	
矯正			9日・16日 30日						
口腔外科									

内科病棟

3病棟看護師長

中島 祐子

どこの地方でもそうでしょうが、この地域は高齢者が多いので、内科病棟では高齢者への医療が中心になっています。病気としては、肺炎や脳梗塞、尿路感染症などが多くなります。

当院での高齢者医療の中心は、ひとつには『認知症』を抱えながら安全・効果的に病気の治療をすること、そしてもうひとつが『虚弱』の改善を図りながら治療をすることです。

『認知症』については、宮永院長や認知症看護認定看護師の指導のもと、専門的な介入を行っています。それでは、『虚弱』って何だ？と思われる方に……。

個人差はありますが、例えば60歳前後の皆さんは、『疲れやすい』、『疲れがとれない』、『体調を崩しやすい』など、いわゆる『歳をとったなあ』と感じることはありませんか？これが進行したものが、高齢者にとつての『虚弱』だと考えてください。

高齢者医療の健康問題を図にしてみました。病院では、この図の矢印の方向に進むことを防ぎ、健康であり続けることをめざして医療・看護を提供しています。そして体調を回復され、自宅へ・地域へ帰っていただくことを目標に対応しています。

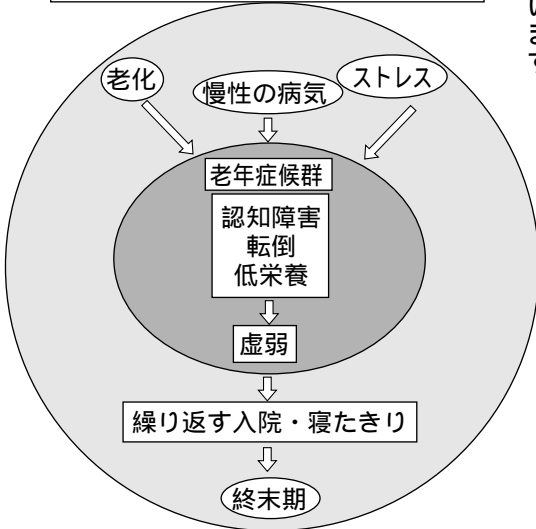
しかし、人間の命には必ず限りがあります。そのため内科病棟では病気を治すだけでなく、人生の終末期をそれぞれの方が望む形で迎えられるよう、支援することも重要だと考えています。入院された方々が回復して退院され

ることはもちろんうれしいことですが、回復に至らない場合でも、何らかの『満足感』を持って帰っていただけることをめざしています。

そのためには、みなさんの考える『どのような人生を送りたいか』、『どのように生きていきたいか』、『というお話を聞かせていただきたいと思います。』

医療者が一般論で決めてしまうのではなく、利用される皆さんと一緒に考えて、その人にとつてより良い医療を提供していきたいのです。こうしたことは、高齢者医療における難しい課題ですが、この地域で活動し、関係性を築いてきたからこそ取り組みが可能なことであり、これからも前向きに対応したいと考えています。

高齢者の健康度低下の流れ



ボランティアの皆様から
たくさんのご協力をいただいております

—シルバー人材センター—

10月14日、この日が「シルバーの日」に定められていることにちなみ、シルバー人材センター会員の皆様68名により、病院敷地内の除草・草刈り、樹木剪定、側溝の泥上げなど、ボランティア作業をしていただきました。本当にありがとうございます。

当院では、今回のほかにも複数の地域団体の皆様から、年に数回にわたり季節に応じた作業を実施していただいております。

ゆきぐに大和病院は、地域を思い、病院を大切にしてくださいる皆様によつて支えられております。

